

[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#)

プレスリリース

2020年
2019年
2018年
2017年
2016年

2019年

11月7日

セキュリティ機器運用代行の「マネージド・セキュリティサービス」を強化

10月10日

IoT機器のセキュリティ対策をトータルに支援するサービスを提供開始

10月1日

自社ソリューション群「PoweredSolution」を刷新し、お客様のDX支援を強化

9月3日

「富士通SSLソリューションフォーラム2019」を開催

7月17日

ダイバーシティ・コミュニケーションツール「LiveTalk」をグループ全社へ展開

6月27日

役員人事について

4月1日

役員人事に関するお知らせ

2月21日

富士通SSLが「健康経営優良法人(ホワイト500)」に2年連続で認定

1月21日

デバイス／クラウドセキュリティMcAfee「MVISION」を販売開始

2015年以前のプレスリリースは[旧ページ](#)をご確認ください。

利用条件

個人情報保護ポリシー

お問い合わせ

サイトマップ

富士通ホームへ

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU

[ホーム](#) > [お知らせ](#) > [プレスリリース](#) > セキュリティ機器運用代行の「マネージド・セキュリティサービス」を強化

プレスリリース

2019年11月7日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
マカフィー株式会社

セキュリティ機器運用代行の 「マネージド・セキュリティ サービス」を強化

～ 「McAfee MVISION EDR」に対応し、EDR製品の運用サポート範囲を拡大～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：土肥 啓介、以下：富士通SSL）は、マカフィー株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：田中 辰夫、以下：マカフィー）のEDR（注1）製品「McAfee MVISION Endpoint Detection and Response（以下：McAfee MVISION EDR）」の取り扱いを開始すると共に、従来から提供しているセキュリティ機器運用代行サービス「マネージド・セキュリティサービス（MSS）」について、運用サポート対象に「McAfee MVISION EDR」を追加して2019年11月7日から提供します。

「McAfee MVISION EDR」は、AIを利用してリスクを調査し、高度な脅威を未然に防ぐEDR製品です。セキュリティインシデント発生の検知を行い、インシデントが発生した際には分析・対応を迅速に支援する機能を有します。また、クラウド管理型のため、お客様環境にサーバーを設置することなく手軽に導入いただけます。

「マネージド・セキュリティサービス」は、2014年11月に提供開始して以来、多種多様なマルチベンダー機器の運用・監視を日本国内をはじめグローバルに展開してきました。今回、新たに「McAfee MVISION EDR」に対応したことで、今まで以上に、幅広いお客様のセキュリティ課題や環境に対応したサービスを提供していきます。

近年、サイバー攻撃の複雑化・巧妙化に伴い、エンドポイントセキュリティには高度な攻撃を検知し、分析や対応を支援するEDR機能を備えた製品の活用が必要となっています。しかし、常時監視ができる専門性の高いセキュリティ要員の組織内での確保は、人材不足の常態化やコスト面などから困難な場合が多く、これら製品の活用にはプロフェッショナルによる運用監視サービスの利用が適しています。

富士通SSLは、従来から提供している「マネージド・セキュリティサービス」の運用サポート対象にマカフィーのEDR製品「McAfee MVISION EDR」を加えることで、同製品のセキュリティアラートを24時間365日監視し、検知したインシデントのリスクレベルや対応の必要性を分析して危険度が高い事象が発生した場合のお客様への通知や、重大インシデント発生時の該当端末のネットワーク遮断などを迅速、確実に実施します。

今後も富士通SSLは、マカフィーと連携し、お客様の様々な課題や幅広い環境に柔軟に対応するため、サポート対象製品を「マネージド・セキュリティサービス」に順次追加、拡充することで、より多くのお客様へ安心安全を提供していきます。

【「マネージド・セキュリティサービス（MSS）」について】

セキュリティ技術者が24時間365日、次世代ファイアウォール、WAF、サンドボックス型マルウェア対策機器、IPS/IDSなどお客様の各種セキュリティ製品が出力するアラートの監視、分析を行います。また、攻撃検出時に通報だけを行うセキュリティ監視サービスとは異なり、セキュリティ機器にルールやシグネチャーを追加するなどのチューニングを行い、お客様のセキュリティリスク低減を図ります。

【MSSにおける「McAfee MVISION EDR」運用監視の特長】

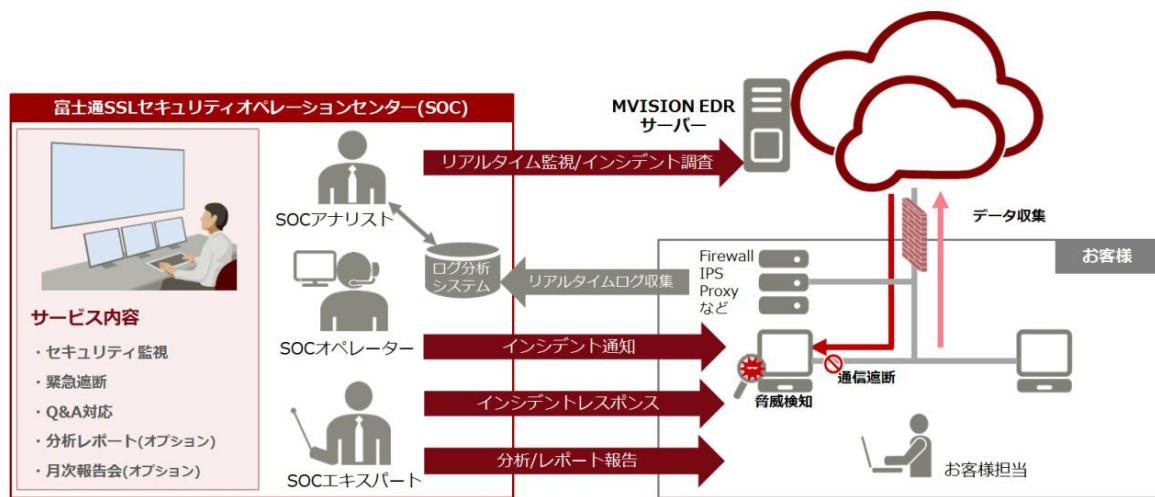
1. 24時間365日リアルタイムで監視、お客様の運用負荷を軽減します

お客様の「McAfee MVISION EDR」を24時間365日リアルタイムで監視し、検知されたセキュリティイベントを高度な技術を有するSOC（注2）アナリストが分析を行い、緊急度を判断、緊急度に応じた対応を行います。

セキュリティイベントの分析など専門的なスキルが求められる運用を富士通SSLのSOCにアウトソースすることで、お客様の運用負荷軽減を実現します。

2. 緊急時は遮断対処や他端末への影響調査を実施、セキュアな環境の維持をサポートします

緊急度の高いセキュリティイベントを検知した場合は、緊急対処としてお客様に代わって端末をネットワークから遮断します。また、該当端末から外部の攻撃サーバーへの通信がないか、他端末への横展開通信がないかなど、標的型攻撃でよく見られる攻撃手法を中心に影響調査を実施し、報告します。



MSSの「McAfee MVISION EDR」運用監視イメージ

【販売価格】 個別見積り

【販売開始日】 2019年11月7日

【販売目標】 2021年度末までに 20社

【 関連Webサイト 】

「マネージド・セキュリティサービス」

<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/solutions/mss/>

「McAfee MVISION Endpoint Detection and Response」

<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/products/mcafee-mvision/mvision-edr/>

【 注釈 】

(注1) EDR (Endpoint Detection and Response)

エンドポイントの脅威を検知し、迅速な対応を支援すること。

(注2) SOC (Security Operation Center)

セキュリティ製品・ネットワーク機器・サーバーなどのログを監視・分析し、サイバー攻撃の検知・通知や対応策の支援を行う組織。

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL：<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と先進技術をもとにソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」として、「DX Co-Creation」、「Customer Experience」、「Data Management」、「DX Platform」、「Security」の5つのカテゴリに体系化し、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。



【マカフィー株式会社について】 URL：<http://www.mcafee.com/jp/>

マカフィーは世界最大規模の独立系サイバーセキュリティ企業です。業界、製品、組織、そして個人の垣根を超えて共に力を合わせることで実現する、より安全な世界を目指し、企業そして個人向けのセキュリティソリューションを提供しています。詳細はマカフィーのWebサイトをご覧ください。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 採用・広報センター

TEL:044-739-1520 / E-mail：ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

製品・サービスお問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 商品お問合せ窓口

E-mail：ssl-info@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。



[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[お問い合わせ](#)

[サイトマップ](#)

[富士通ホームへ](#)

[ホーム](#) > [プレスリリース](#) > **IoT機器のセキュリティ対策をトータルに支援するサービスを提供開始**

プレスリリース

2019年10月10日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

IoT機器のセキュリティ対策をトータルに支援するサービスを提供開始

～「IoTセキュリティマップ」を策定し、IoTセキュリティへの取り組みを強化～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：土肥啓介）は、IoT機器へのセキュリティ対策をトータルに支援する「IoTセキュリティサービス」を2019年10月10日より提供開始いたします。製造業のお客様向けにセキュアなIoT機器の開発を支援するとともに、IoT機器を活用するお客様のIoTシステムのセキュリティ強化を支援することで、安全かつ継続的なお客様のデジタルビジネスの実現に貢献します。

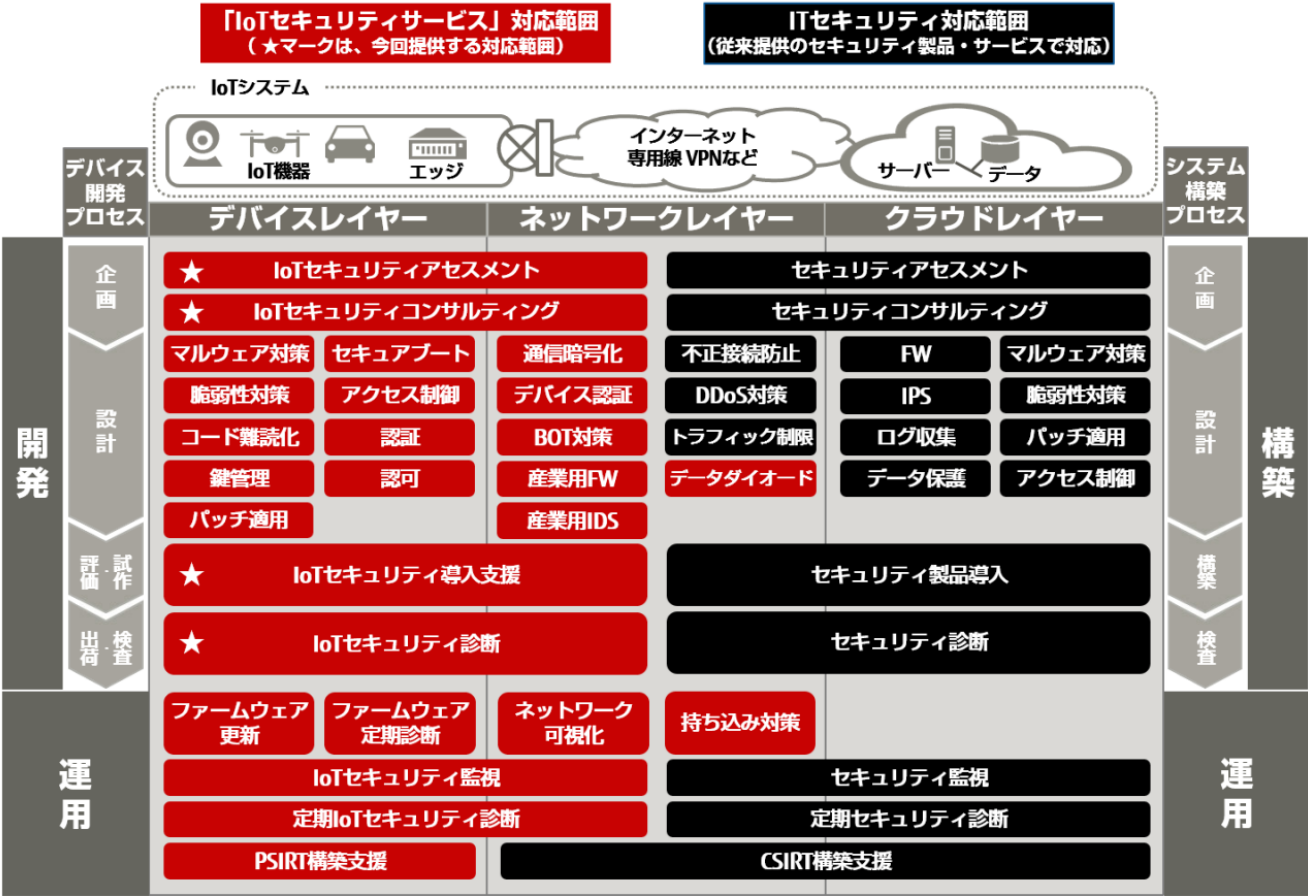
「IoT(Internet of Things) = モノのインターネット」という言葉が広く認知されている現在では、これまでインターネットに接続されていなかった複合機、テレビ、デジタルカメラ、デジタル情報家電、自動車や、工場、プラントなどの産業制御システムのインターネット接続が一般的になってきました。今後も様々な分野でIoTのさらなる活用拡大が予測される一方で、IoT機器は生活にも深く関わるあらゆる場所に設置されるため、IoTシステムへのサイバー攻撃によるプライバシー情報の漏えいや人命に関わる重大な問題の発生など、新たな脅威の拡大が懸念されています。

そこで当社は、IoTシステム全体のセキュリティ対策を実現する「IoTセキュリティマップ」（下記図）を策定し、これに沿ってIoTデバイスのセキュリティ対策を開発から運用までトータルに支援する「IoTセキュリティサービス」を提供開始します。今回、当社の20年以上にわたるセキュリティコンサルティングや開発の実績で培ったノウハウを活かし、「IoTセキュリティサービス」の中の「アセスメ

ント」、「コンサルティング」、「導入支援」、「診断」の4分野のサービスについてご提供します。

なお、「IoTセキュリティマップ」のネットワーク、クラウドに関わるITセキュリティ対応範囲については、従来からご提供しているセキュリティ製品・サービスを活用して安全なIoTシステムの構築を支援します。

今後、当社は自社開発のIoT/組み込み機器向けマルウェア対策ソフトウェア「WhiteSec」^{（注1）}をソリューションの中核と位置付け、IoTシステムの様々な脅威に対応するためのラインアップを「IoTセキュリティマップ」に沿って拡充し、セキュリティのリーディングカンパニーとしてお客様のIoTシステムのセキュリティ強化をトータルでご支援していきます。



「IoTセキュリティマップ」

- 【「IoTセキュリティサービス」 サービスメニュー】
- 「IoTセキュリティアセスメントサービス」
 - お客様が準拠すべき法令や規定、ガイドラインへの対応状況の机上チェックをヒアリングにより実施
 - 対応状況を分析し、問題点の洗い出しと発見された問題への対策を支援
 - 「IoTセキュリティコンサルティングサービス」
 - 各社の品質保証に関するガイドラインに対して、セキュリティ観点での補足事項の追加やアドバ

イスを実施

-ベストプラクティスとなるセキュリティガイドラインのサンプルドキュメントを提供

- ・「IoTセキュリティ導入支援サービス」

-IoT向けセキュリティプロダクト/サービスの設計・導入支援を実施

-お客様環境に最適なセキュリティ機能を提供し、外部攻撃からのリスク対策を支援

- ・「IoTセキュリティ診断サービス」

-実際の機器に対して、保守用ポート、モバイル回線、スマートフォン連携などの各種インターフェースからの侵入テストを実施

-流れる信号の波形などハードウェアレベルの情報から、機密情報の搾取が可能かテストを実施

【「IoTセキュリティサービス」 サービス提供価格】

「IoTセキュリティアセスメントサービス」 ：個別見積（150万円～）

「IoTセキュリティコンサルティングサービス」 ：個別見積（300万円～）

「IoTセキュリティ導入支援サービス」 ：個別見積（100万円～）

「IoTセキュリティ診断サービス」 ：個別見積（150万円～）

【提供開始日】 2019年10月10日

【販売目標】 2021年度末までに売上3億円

【注釈】

（注1）「WhiteSec」

当社開発のセキュアOS製品「FUJITSU Security Solution SHieldWARE」のサーバー要塞化技術を応用し、ゼロデイ攻撃（*）など未知のマルウェアを防御するホワイトリスト実行制御機能等を搭載したIoT/組み込み機器向けのマルウェア対策ソフトウェア。

* ソフトウェアの脆弱性が発見されてから修正プログラムなどの対策が提供されるまでの間に行われる攻撃。

【 関連Webサイト 】

- 「IoTセキュリティサービス」
<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/services/iot-security/>
- 「WhiteSec」
<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/products/whitesec/>
- IoT/組み込み機器向けマルウェア対策の自社開発ソフト「WhiteSec」を販売開始
(2017年12月25日発表)
<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/resources/news/press-releases/2017/1225.html>

【 商標について 】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

【 株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて 】

URL : <https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と先進技術をもとにソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」として、「DX Co-Creation」、「Customer Experience」、「Data Management」、「DX Platform」、「Security」の5つのカテゴリに体系化し、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 採用・広報センター

TEL:044-739-1520 / E-mail : ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

製品・サービスお問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボトリ 商品お問合せ窓口

E-mail : ssl-info@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。



[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[お問い合わせ](#)

[サイトマップ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU

[ホーム](#) > [プレスリリース](#) > 自社ソリューション群「PoweredSolution」を刷新し、お客様のDX支援を強化

プレスリリース

2019年10月1日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

自社ソリューション群 「PoweredSolution」を刷新し、 お客様のDX支援を強化

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：土肥 啓介）は、お客様のデジタルトランスフォーメーションへの支援を強化するため、2000年11月から提供している自社ソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」の商品・サービス体系を刷新し、2019年10月1日より提供を開始します。

ヒトやモノ、ビジネスなど社会のあらゆるものがつながり合うデジタル時代において、革新的なビジネスモデルが次々と登場し既存のビジネスは変化のチャンスと脅威に接しています。アナログをデジタルに置き換える"デジタイゼーション"から、デジタルですべてをつなぐ"デジタライゼーション"へ、そして"デジタルトランスフォーメーション"（以下、DX）によるビジネス変革へと歩みを進めることが、多くの企業や組織に求められています。

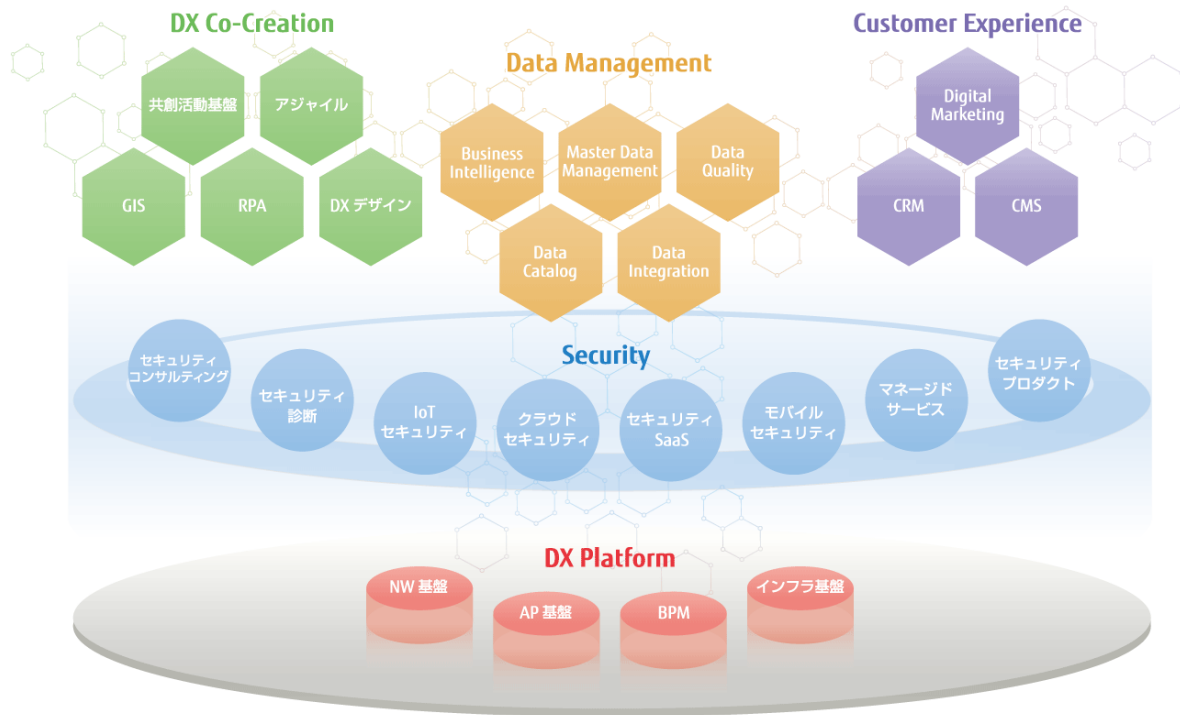
当社は、DX推進を検討されるお客様のニーズにお応えするため、自社ソリューション群「PoweredSolution」の商品・サービス体系カテゴリを「DX Co-Creation」、「Customer Experience」、「Data Management」、「DX Platform」、「Security」の5つに再編し、DX支援を強化しました。

当社は、DXエンジニア集団としてこれらのソリューションをお客様のDX実現に向けご提案、ご提供

することで、お客様の新たなビジネス創出や更なる価値向上をご支援してまいります。

なお、最新の「PoweredSolution」をご紹介します場として、2019年10月17日（木曜日）、18日（金曜日）に「富士通SSLソリューションフォーラム2019」を川崎市コンベンションホール（武蔵小杉）にて開催いたします。

【「PoweredSolution」商品・サービス体系カテゴリ】



「PoweredSolution」商品・サービス体系

1. 「DX Co-Creation」

お客様のDXは、ICTを活用し、顧客視点で新たな価値を創出していきます。そのためには、ビジネスモデルや企業文化等の変革が求められます。当社の「DX Co-Creation」は、お客様の強みを主軸に、最適なソリューションでお客様のビジネス競争力に貢献し、更にはお客様の顧客への新たな価値の創出をアジャイルにサポートします。

2. 「Customer Experience」

お客様が顧客と長期的に良好な関係を築くには、あらゆる顧客接点において最適なエクスペリエンス（価値体験）を提供することが重要です。当社の「Customer Experience」は、CRM（顧客管理）やCMS（コンテンツ管理）をはじめ、AIチャットボットやマーケティングオートメーションなどのデジタルテクノロジーを通じて、顧客とのエンゲージメント向上をご支援します。

3. 「Data Management」

デジタルビジネスの推進と共に、多種多様なデータが発生し蓄積されます。どこにどのようなデータがあるのかを可視化し、それらのデータを利用しやすくすることで、これまで気づかなかった新しいデータの利用方法を見つけることができます。当社の「Data Management」では、得た気づきと蓄積したデータを当社が保有する最適なソリューションと組み合わせることでデータの利活用を

促進し、お客様の価値創造を支援します。

4. 「DX Platform」

お客様のDX実現に向けたデジタル化領域の拡大やビジネスの迅速性向上、変化に強いエコシステムの実装には、それらを支えるICT基盤が重要です。当社の「DX Platform」は、デジタルビジネスへの変革を実現するICT基盤を提供します。

5. 「Security」

お客様のDXへの取り組みが活発化していくなか、IoT、クラウド、モバイルといったシステムを取り巻く環境が多様化しており、利便性と隣り合わせにその脅威も大きなものとなっています。当社の「Security」は、サイバー攻撃をはじめとする重大リスクを防御、軽減することによってお客様のビジネスの発展を支援します。

【販売開始日】 2019年10月1日

【「富士通SSLソリューションフォーラム2019」のご案内】

最新の「PoweredSolution」をご紹介します場として、「富士通SSLソリューションフォーラム2019」を開催いたします。

テーマ
デジタルテクノロジーで未来を創る ～信頼と技術で応えるSSL～
会 期
2019年10月17日（木曜日）13時00分～17時00分 2019年10月18日（金曜日）10時00分～17時00分 ※最終受付16時30分（両日）
会 場
川崎市コンベンションホール（武蔵小杉）
主 催
株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ（富士通SSL）
入場料
無料（ご参加にあたっては事前登録をお願いします。） https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/about/resources/events/forum/

【 関連Webサイト 】

- ・「PoweredSolution」
<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/solutions/powered>

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

【株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリについて】

URL：<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と先進技術をもとにソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」として、「DX Co-Creation」、「Customer Experience」、「Data Management」、「DX Platform」、「Security」の5つのカテゴリに体系化し、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ 採用・広報センター

TEL:044-739-1520 / E-mail：ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

製品・サービスお問い合わせ先

株式会社富士通ソーシアルサイエンスラボラトリ 商品お問合せ窓口

E-mail：ssl-info@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。



[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[お問い合わせ](#)

[サイトマップ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU

[ホーム](#) > [プレスリリース](#) > 「富士通SSLソリューションフォーラム2019」を開催

プレスリリース

2019年9月3日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

「富士通SSLソリューションフォーラム2019」を開催

～ デジタルテクノロジーでみらいを創る ～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：土肥 啓介）は、2019年10月17日（木曜日）、10月18日（金曜日）の2日間、川崎市コンベンションホール（川崎市 武蔵小杉）にて、「デジタルテクノロジーでみらいを創る ～信頼と技術で応えるSSL～」をテーマにプライベートフォーラム「富士通SSLソリューションフォーラム2019」を開催します。

ヒトやモノ、ビジネスなど社会のあらゆるものがつながり合うデジタル時代において、革新的なビジネスモデルが次々と登場し既存のビジネスは変化のチャンスと脅威に接しています。アナログをデジタルに置き換える“デジタイゼーション”から、デジタルで全てを繋ぐ“デジタライゼーション”へ、そして“デジタルトランスフォーメーション”（以下、DX）へ時代は変化していきます。

「富士通SSLソリューションフォーラム2019」では、自社ソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」からセキュリティやデータマネジメントの最新ソリューションをはじめ、これからのDX時代を支えるテクノロジーや新たな取り組みについてデモ展示形式でご紹介します。

また、各方面に精通した有識者を講師としてお迎えし、セミナーを実施します。

本フォーラムのご案内や事前お申し込みなどの詳細については、「富士通SSLソリューションフォーラム2019」Webサイトをご覧ください。

■「富士通SSLソリューションフォーラム2019」開催概要

会 期
2019年10月17日（木曜日） 13時～17時 [受付 13時～16時30分] 2019年10月18日（金曜日） 10時～17時 [受付 10時～16時30分]
会 場
川崎市コンベンションホール （川崎市 武蔵小杉）
テーマ
デジタルテクノロジーでみらいを創る ～信頼と技術で応えるSSL～
参加費
無料（事前参加申込制） [申し込み締切] 2019年10月11日（金曜日） 17時

「富士通SSLソリューションフォーラム2019」 Webサイト
<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/about/resources/events/forum/>

【デモ展示】

お客様のDXを実現するためのソリューションや技術を、当社の注力テーマであるセキュリティやDX時代を支えるテクノロジー、データマネジメントを中心にご覧いただきます。

【セミナー】

いよいよ一年後となった東京オリンピック・パラリンピックに向けた取り組みや、働き方改革の実現例、ロボットと人間や社会との関わりについてなど、有識者4名による講演を予定しています。

■10月17日（木曜日）

13時30分～14時30分

「東京2020大会に向けたサイバーセキュリティの取り組み」

公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会
チーフ・インフォメーション・セキュリティ・オフィサー
坂 明氏

15時00分～16時00分

「Boxによって実現する新しい働き方のカタチ」

株式会社Box Japan
執行役員 アライアンス・事業開発部 部長 働き方改革推進担当
安達 徹也氏

■10月18日（金曜日）

13時30分～14時30分

「テクノロジーでスポーツに革命を！」

富士通株式会社
スポーツ・文化イベントビジネス推進本部 第二スポーツビジネス統括部長
兼) 東京オリンピック・パラリンピック推進本部 シニアディレクター
藤原 英則氏

15時00分～16時00分

「ロボットと人間・社会との関わり～近未来社会に向けて～」

大阪大学 教授
石黒 浩氏

(注) デモ展示、セミナーの内容は変更することがあります。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 採用・広報センター

お客様お問い合わせ先

富士通SSLソリューションフォーラム2019事務局

E-mail : ssl-forum@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。



イベント情報詳細

利用条件

個人情報保護ポリシー

お問い合わせ

サイトマップ

富士通ホームへ

[ホーム](#) > [プレスリリース](#) > [ダイバーシティ・コミュニケーションツール「LiveTalk」をグループ全社へ展開](#)

プレスリリース

2019年7月17日

富士通株式会社

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

ダイバーシティ・コミュニケーション ツール「LiveTalk」をグループ全社へ 展開

～ 聴覚障がい者とのコミュニケーション円滑化や業務の効率化を支援 ～

富士通株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：時田 隆仁、以下、富士通）および株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：土肥 啓介、以下、富士通SSL）は、2019年度下期より、富士通および国内の富士通グループ会社に対して、全社共通サービスとして、聴覚障がい者への就業サポートを目的にダイバーシティ・コミュニケーションツール「FUJITSU Software LiveTalk（ライブトーク 以下、LiveTalk）」を展開していきます。

富士通グループは、ヒューマンセントリックな社会の実現に向けて、SDGsをはじめとする社会課題解決に取り組んでいます。本取り組みを通じて富士通は、多様な人材が活躍できる環境の整備を進め、聴覚障がい者とのコミュニケーションの円滑化と業務効率化を支援するとともに、聴覚障がい者も含めたすべての人のための働きがいのある環境の実現（注1）を目指します。

【背景】

富士通はこれまで、積極的にダイバーシティ推進活動に取り組んでおり、障がいの有無にかかわら

ず生き活きと働ける環境づくりのため様々な取り組みを進めています。本取り組みの一環として、富士通と富士通SSLは、聴覚障がい者に向けた合理的配慮（注2）の実現に向け、2015年より企業のお客様に向けて「LiveTalk」を提供しています。

聴覚障がいのある社員は、音声のみの情報に頼る会議や集合研修、講演会などに参加することが難しく、情報伝達の問題により仕事の幅が狭まる傾向があり、聴覚障がい者への情報保障が重要な課題となっています。これまで富士通グループでは個々の部門で必要に応じて独自に「LiveTalk」を導入していましたが、今回、全社共通のサービスとして「LiveTalk」をクラウドで展開していきます。

【概要】

1.目的

- 多様な人材が活躍できる環境の整備
- 聴覚障がい者とのコミュニケーションの円滑化により業務の幅を拡大

2.施策内容

富士通および国内の富士通グループ会社に対して「LiveTalk」を順次展開していくことにより、手軽に、低コストで、様々な場面で社員の「LiveTalk」利用が可能となります。これにより、聴覚障がいのある社員にとってこれまで難しかった会議や研修などへの参加を促し、富士通グループ全体で合理的配慮に向けた対応を実現していきます。

3.スケジュール

2019年7月17日より先行部門にて試行評価を行ったのち、2019年度下期より、富士通全社員およびグループ会社を対象として、約200名の聴覚障がい者が在籍している各部門を中心に希望する部門へ順次展開していきます。

【今後】

富士通では、障がいの有無に関わらず活躍できる職場・社会を目指し、障がい者の職域を限定することのない採用活動や障がいのある社員を受け入れる際の職場向けのマニュアル「ワークスタイルガイドライン」を導入するなど様々な活動を進めています。今後も互いの違いを理解し尊重する関係性の中で一人ひとりが持てる力を存分に発揮し、個々の成長とイノベーションにつなげていく「ダイバーシティ＆インクルージョン」を推進していきます。

【「LiveTalk」について】

「FUJITSU Software LiveTalk」とは、発話者の発言を音声認識し、即座にテキスト変換することで、発言内容を複数端末にリアルタイムにテキスト表示するダイバーシティ・コミュニケーションツールです。今回活用する機能とは別に、21言語への翻訳機能も搭載されており、表示させたい言語を選択するだけで発話者の言語を翻訳して表示可能です。既に国内300社以上の導入実績を持ち

（2019年7月現在）、聴覚障がい者とのコミュニケーションやグローバル活動の支援ツールとして利用できます。



図. LiveTalk活用イメージ

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

【注釈】

- (注1) すべての人のための働きがいのある環境の実現：
SDGsの目標8「すべての人のための持続的、包摂的かつ持続可能な経済成長、生産的な完全雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を推進する」より。
- (注2) 合理的配慮：
「障害者が他の者との平等を基礎として全ての人権及び基本的自由を享有し、又は行使することを確保するための必要かつ適当な変更及び調整であって、特定の場合において必要とされるものであり、かつ、均衡を失した又は過度の負担を課さないものをいう。」（出展：「障害者の権利に関する条約」「第二条 定義」）

【関連Webサイト】

- 富士通のダイバーシティの取り組み：<https://www.fujitsu.com/jp/about/csr/diversity/>
- ダイバーシティ・コミュニケーションツール「LiveTalk」製品ページ：
<https://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/products/livetalk/>

本取り組みに関するお問い合わせ先

富士通株式会社 ダイバーシティ推進室

電話：03-6252-2129

「LiveTalk」に関するお問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボトリ [商品お問合せ窓口](#) >

E-mail：ssl-info@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。



[LiveTalk詳細](#)



[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[お問い合わせ](#)

[サイトマップ](#)

[富士通ホームへ](#)

[ホーム](#) > [プレスリリース](#) > [役員人事について](#)

プレスリリース

2019年6月27日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボトリ

役員人事について

2019年6月26日に開催された第50回定時株主総会において、下記の役員人事を決定しましたのでお知らせします。

なお、当社関連会社の役員人事についても、株式会社SSLパワードサービスは2019年6月27日開催の第14回定時株主総会により、また株式会社富士通SSLハーモニーは2019年6月27日開催の第2回定時株主総会により、下記のとおり決定しましたのであわせてお知らせします。

記

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボトリ（2019年6月26日付）】

代表取締役社長　土肥　啓介（重任）

監査役（非常勤）　若林　昭浩

【株式会社SSLパワードサービス（2019年6月27日付）】

代表取締役社長 唐渡 直之（重任）

監査役（非常勤） 池之上 隆司

【 株式会社富士通SSLハーモニー （2019年6月27日付） 】

代表取締役社長
（非常勤） 仙田 健（重任）

監査役（非常勤） 池之上 隆司

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボトリ 採用・広報センター

TEL:044-739-1520(直通) / E-mail : ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。



利用条件

個人情報保護ポリシー

お問い合わせ

サイトマップ

富士通ホームへ

[ホーム](#) > [プレスリリース](#) > [役員人事に関するお知らせ](#)

プレスリリース

2019年4月1日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

役員人事に関するお知らせ

当社は、4月1日付で下記のとおり役員の人事異動を行いましたので、お知らせいたします。
なお、当社関連会社の株式会社SSLパワードサービス、株式会社富士通SSLハーモニーについても、
下記のとおり役員の人事異動を行いましたので、あわせてお知らせします。

記

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ】

1. 取締役・監査役

代表取締役社長 土肥 啓介
監査役（非常勤） 若林 昭浩

2. 執行役員

執行役員常務 仙田 健
執行役員 田村 浩
執行役員 芳根 明宏
執行役員 東條 正和
執行役員 都丸 良弘

3. 退任

前取締役 砂田敬之、飯島淳一は退任しました。

【株式会社SSLパワードサービス】

株式会社SSLパワードサービスは執行役員制度を導入し、これまで以上に業務執行における責任の明確化と意思決定の迅速化を図ってまいります。

1. 取締役・監査役

代表取締役社長 唐渡 直之
監査役（非常勤） 池之上 隆司

2. 執行役員

執行役員 小林 正明
執行役員 田代 文男

【株式会社富士通SSLハーモニー】

1. 取締役・監査役

代表取締役社長（非常勤） 仙田 健
監査役（非常勤） 池之上 隆司

2. 退任

前取締役 唐渡直之、梅原裕一は退任しました。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

TEL:044-739-1520(直通) / E-mail : ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。



[利用条件](#)

[個人情報保護ポリシー](#)

[お問い合わせ](#)

[サイトマップ](#)

[富士通ホームへ](#)

Copyright 1994 - 2021 FUJITSU

[ホーム](#) > [プレスリリース](#) > 富士通SSLが「健康経営優良法人（ホワイト500）」に2年連続で認定

プレスリリース

2019年2月21日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ

富士通SSLが「健康経営優良法人（ホワイト500）」に2年連続で認定

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：土肥 啓介、以下：富士通SSL）は、グループ会社である株式会社SSLパワードサービス（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：唐渡 直之）および株式会社富士通SSLハーモニー（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：仙田 健）と共に、社員の健康管理を経営的な視点で考え戦略的に取り組む法人として、経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人2019（大規模法人部門） ホワイト500」に2年連続で認定されました。

健康経営優良法人認定制度は、日本健康会議が進める健康増進の取り組みを基に、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。大規模法人部門では、「経営理念・方針」、「組織体制」、「制度・施策実行」、「評価・改善」、「法令遵守・リスクマネジメント」の5つの側面で評価が行われます。

富士通SSLは『働く人が幸せな会社である』との経営理念の基、2017年4月に富士通グループの中でもいち早く「富士通SSLグループ健康経営宣言」を採択し、従業員の健康維持・増進に向け、SSLグループ全体で積極的に健康経営を推進しています。また、以前より、『健康は資源』という観点から「健康管理規定」を定めて健康維持・増進施策の指針を明文化し、さらに、人材や働き方の多様性を進めるための行動指針「SSL Diversity Way」を軸にした働き方改革を実施しています。

今後、富士通SSLは、従業員の健康増進に向けた制度の改善や取り組みの拡充を継続すると共に、従業員自らが健康への意識を一層高めるよう、啓蒙活動にも注力してまいります。

【富士通SSLグループ健康経営宣言】

富士通SSLグループは、『働く人が幸せな会社である』との経営理念の基、社員の健康を大切にしたい経営に取り組めます。社員の健康を何よりも最優先し、社員がイキイキとその能力を最大限に発揮することで、「確かな技術」と「安心品質」でお客様の成長と豊かな社会発展に貢献します。

【富士通SSLの取り組み（一部）】

富士通SSLは、ワーク・ライフ・バランスの推進をはじめ、健康増進施策「イキイキチャレンジ表彰」や体組成計測定会など健康増進に向けた取り組みを実施すると共に、経営陣と人事部を筆頭に下記の会議体を設け、全社を挙げて従業員一人ひとりの健康管理対策を実施しています。

1.「健康安全ミーティング」の開催（毎月1回、全社で実施）

全役員、全本部長、人事部、保健師による、労働時間適正化を目的としたミーティングを毎月開催。全社レベルでの労働状況を毎月確認し、時間外労働基準の厳守や休日確保等について企業方針や対策の検討を行っている。

2.「衛生委員会」の実施（毎月1回、全社で実施）

人事部、総務部、保健師、社員代表者が参加。本部／部レベルでの労働状況を確認し、「健康安全ミーティング」での検討事項をもとに、特に、健康面では保健師の知見を参考にした対応策を、職場環境面では総務部による改善策の検討を行っている。


3.「時間管理協議会」の実施（毎月1回、事業部毎に実施）

各事業部の本部長／部長、人事部、社員代表者会、保健師（随時）が参加。部／個人レベルでの労働状況を確認し、「健康安全ミーティング」と「衛生委員会」で決定された新たな対策の共有と、実行中の対策の順守状況に関する報告を行っている。

【関連Webサイト】

「健康経営優良法人2019」認定法人が認定されました！

(経済産業省Webサイト 2019年2月21日プレスリリース)

<http://www.meti.go.jp/press/2018/02/20190221002/20190221002.html>

富士通SSL ダイバーシティへの取り組み

<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/efforts/diversity/>

[2018年度プレスリリース]

富士通SSLが「健康経営優良法人（ホワイト500）」に認定されました

【株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリについて】

URL : <http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/>

当社は富士通グループの一員として、ソフトウェア開発／システム構築を中心に事業を展開してきました。現在、それらの実績と最先端のICTをもとに「Digital Platform」「Security」「Business Application」「Innovation」の4つのカテゴリ、53のソリューション群「PoweredSolution（パワード・ソリューション）」により、お客様の企業価値向上をご支援しています。また、「オープンイノベーションHUB」として数多くの大学や先進企業と共創活動を行ってきた実績を活かし、お客様と共にイノベーションの創出に取り組んでいます。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

TEL:044-739-1520(直通) / E-mail : ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。



利用条件

個人情報保護ポリシー

お問い合わせ

サイトマップ



ホーム > プレスリリース > デバイス／クラウドセキュリティMcAfee「MVISION」を販売開始

プレスリリース

2019年1月21日

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ
株式会社富士通九州システムズ

デバイス／クラウドセキュリティ McAfee「MVISION」を販売開始

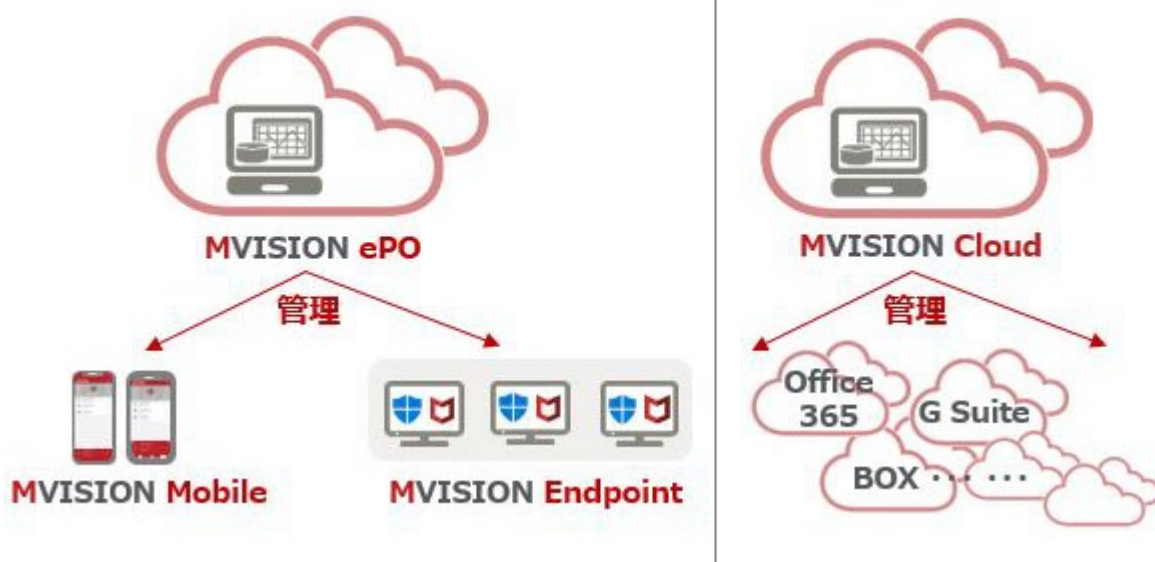
～ 富士通SSLとFJQSが連携し、エンドポイントおよびクラウドの
セキュリティを一元管理 ～

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ（本社：神奈川県川崎市、代表取締役社長：土肥 啓介、以下：富士通SSL）と株式会社富士通九州システムズ（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長：石井 雄一郎、以下：FJQS）は、「MVISION」（McAfee Multi Vendor InSights & Intelligence Open Environment）を2019年1月21日に販売開始します。「MVISION」は、Windowsデバイスを守る「Endpoint」とiOS/Androidを守る「Mobile」、この2つを一元管理する統合管理サーバ「ePO」（ePolicy Orchestrator）、および、CASB（Cloud Access Security Broker）（注1）でクラウド利用を一元管理する「Cloud」の4つで構成されるセキュリティソリューションです。

富士通SSLは、「Endpoint」、「Mobile」、「ePO」を、FJQSは「Cloud」を取り扱い、各社の得意分野とノウハウを活かし、お客様のご要件に合わせて共同で「MVISION」を提供します。両社は長年に渡り、強力なビジネスパートナーとして連携しており、セキュリティ診断や監視サービス等において数多くのお客様のセキュリティ強化を共に実現し、安心・安全をご支援しています。

企業では、働き方改革によるワークスタイルの多様化に伴い、今後BYOD（Bring Your Own Device）（注2）の導入がさらに加速すると予測されています。BYODの導入により、社員はノートパソコンやスマートフォン、タブレット、スマートウォッチなどのデバイスを利用シーンに合わせ柔軟に選択できるようになり、利便性が向上します。一方、企業では複雑化するデバイスの管理やクラウド利用へのセキュリティリスク対策とその運用コストが課題となっています。

「MVISION」全体イメージ



「MVISION」は、「ePO」、「Endpoint」、「Mobile」でエンドポイントセキュリティを、「Cloud」でクラウド環境のセキュリティを包括的に管理するソリューションです。エンドポイントセキュリティについては、従来複数のコンソールで管理していたセキュリティ製品やアプリケーションを「ePO」で一元管理することで、効率的に安全なエンドポイント環境を実現します。Windows Defenderなどのサードパーティにも対応し、SaaS型コンソールのため、既存環境から容易に移行でき、短期導入が可能です。クラウドセキュリティについては、社内で利用されている全てのクラウドサービス（SaaS、IaaS、PaaS）の利用状況を可視化し、管理することで、リスクを低減することができます。また、アクティビティ監視やアノマリ検知、データ損失防止（DLP）や共有制限などの機能を備えており、さらなるセキュリティ強化が可能です。

富士通SSLとFJQSは「MVISION」の提供により、あらゆるワークスタイルにおけるデバイス／クラウド利用の安心安全を実現し、企業の働き方改革をセキュリティの面から支援してまいります。また今後、「マネージド・セキュリティサービス（MSS）」で、セキュリティプロフェッショナルによる「MVISION」の運用代行サービスも予定しています。

【「MVISION」の特長】

1. 「MVISION ePO」で効率的なデバイス管理を実現

SaaS型の統合管理サーバ「MVISION ePO」で、「MVISION Endpoint」、「MVISION Mobile」を一

元管理します。McAfee製品をはじめWindows Defenderなどサードパーティのアプリケーションを含むエンドポイントのセキュリティ環境を単一コンソールで可視化し、リスク管理を行うことができます。SaaS型のため維持管理やサイジングが不要で、インフラコストも削減可能です。

2. 「MVISION Endpoint」でWindowsデバイスの強固なセキュリティを実現

従来のMcAfee Endpoint SecurityとWindows Defenderの組み合わせにより、Windows 10独自のセキュリティ機能を強化します。McAfee Endpoint Securityの機械学習機能、認証情報の窃盗監視機能、ロールバック機能で高度なファイルレスマルウェアの脅威も阻止し、強固なセキュリティを実現します。

3. 「MVISION Mobile」でiOSとAndroidの保護を実現

ユーザーの操作性を損なわずにiOS／Androidデバイスをリアルタイムに保護します。公共のアクセスポイント、モバイル通信など、ネットワーク接続方法に関係なく、常にモバイルデバイスを保護します。BYODのモバイルデバイスに対しても、プライバシーを侵害することなく常時安全な環境を保つことができます。

富士通SSLは働き方改革を強力に推進しており、今般「MVISION Mobile」の社内実践をスタートし、順次導入を拡大していく予定です。

4. 「MVISION Cloud」でクラウドデータの保護も実現

全てのクラウドデータ、コンテキスト、ユーザーの動作を可視化し、クラウドと送受信される機密情報を保護します。クラウドサービス内のポリシー違反やセキュリティ脅威をリアルタイムで検出し、アクションを実行することで、常に安全なクラウド利用を実現します。なお「MVISION Cloud」は、分析やコンサルティング、運用をサポートする「クラウド利用監視サービス」として提供します。

【参考価格（税別）】 ※1,500ユーザーの場合

メニュー	ユーザーライセンス	年間総額	内 容
MVISION Standard (MV1)	3,982円／年	5,973,000円／年	ePO (SaaS) +Endpoint
MVISION Plus (MV2)	8,124円／年	12,186,000円／年	ePO (SaaS、AWS 、On-Premises) +Endpoint +Mobile

※「MVISION Cloud」（「クラウド利用監視サービス」）についてはFJQSにお問い合わせください。

【販売開始日】 2019年1月21日


【販売目標】 3年で15億円

【マカフィー株式会社様からのエンドースメント】

この度、クラウドシステムやセキュリティ運用における豊富な実績をお持ちの富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ様と富士通九州システムズ様より、「MVISION」が提供されることを心より歓迎いたします。働き方の多様化が進み、新たな課題が顕在化する中、「MVISION」の提供により、エンドポイントだけでなくクラウド上においても、企業が重要な情報資産を保護し、安心安全な環境でビジネスを推進できるようになるものと確信しております。マカフィーは今後も「デバイスからクラウドまでを保護するサイバーセキュリティ企業」として、お客様のセキュリティ対策の強化に貢献してまいります。

マカフィー株式会社
代表取締役社長 山野 修

【関連Webサイト】

- 「MVISION」
ePO／Endpoint／Mobile [富士通SSL]
<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/products/mcafee-mvision/>
Cloud（クラウド利用監視サービス）[FJQS]
<http://www.fujitsu.com/jp/group/kyushu/solutions/business-technology/security/cloud/> 
- 「マネージド・セキュリティサービス（MSS）」
<http://www.fujitsu.com/jp/group/ssl/solutions/mss/>

【注釈】

- (注1) CASB（Cloud Access Security Broker）
複数のクラウドサービスに対してクラウドアクセスログ分析やセキュリティポリシーの適用、アクセスコントロールを実現する仕組み。
- (注2) BYOD（Bring Your Own Device）
業務に私物のスマートフォンやノートパソコンなどのデバイスを使用すること。

【商標について】

記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

以上

報道関係者お問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 広報室

TEL:044-739-1520(直通) / E-mail : ssl-pro@cs.jp.fujitsu.com

製品／サービスお問い合わせ先

株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ 商品お問合せ窓口 [>](#)

E-mail : ssl-info@cs.jp.fujitsu.com

株式会社富士通九州システムズ セキュリティソリューション担当

E-mail : fjqs-secservice@cs.jp.fujitsu.com

プレスリリースに記載された製品の価格、仕様、サービス内容、お問い合わせ先などは、発表日現在のものです。その後予告なしに変更されることがあります。あらかじめご了承ください。



MVISION詳細



利用条件

個人情報保護ポリシー

お問い合わせ

サイトマップ

富士通ホームへ